くみあいNEWS

WWU
WAKAYAMA WORKERS' UNION

第１５３３１号
2023年10月27日(金)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

日本製鉄和歌山労働組合「第１１回定期大会」を開催する


永田議長


岡田議長

去る 10 月 13 日、日本製鉄和歌山労働組合「第 11 回定期大会」を代議員 86 名参加のもと開催しました。

永田、岡田両議長のスムーズな進行により大会は進められ、特別報告の「第 27 回参議院議員選挙対策について」では、和歌山労組としてＪＡＭ出身で基幹労連の推薦候補者である「郡山りょう」氏への推薦を確認しました。

第１号議案「第 54 期運動方針に関する件（案）」に対しては、薄板支部、小径製品支部、海南整備支部、ステンレス支部、ならびに青年女性部より補強意見が出されました。

第１号議案「第 54 期運動方針に関する件（案）」、第２号議案「2024 年度会計予算に関する件（案）」ともに賛成絶対多数により可決・決定されました。

本大会に華をそえていただきましたご来賓の方々をご紹介します


日本製鉄労働組合連合会
書記長　小寺　浩志氏


連合和歌山
(和歌山労組特別執行委員)
会長　山本　龍一氏


和歌山市議会議員
清末　博善氏


こくみん共済coop和歌山推進本部
(和歌山労組顧問)
本部長　池田　祐輔氏

- 基幹労連政策推進局事務局次長（局長）
  （和歌山労組特別執行委員）　黒島　　巌氏
- 和歌山県議会議員　浦口　高典氏
- 県労懇　副会長　湯川　正文氏
- 近畿労働金庫　和歌山支店　支店長　小川　佳克氏

第11回定期大会
組合長挨拶


中濱組合長

大会代議員の皆様、ご安全に !!

和歌山労組「第 11 回定期大会」へのご対応、大変お疲れ様でございます。

開会にあたり、和歌山労組を代表してご挨拶を申し上げます。

まずもって、組合員の皆様におかれましては、日頃より和歌山労組の諸活動に対し多大なるご理解・ご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

前期の後半年度は、ほとんどがコロナ禍にあり、様々な制限・制約があったにもかかわらず、安全衛生活動はもとより、各支部が工夫を凝らしできる限りの活動を展開して頂き、盛り上げを図った一年であったと実感しております。

また、職場においても、安全・環境・防災を最優先に、日々の安定操業にご尽力を頂いている点につきましても、重ねてお礼を申し上げる次第であります。

さて、本日の定期大会には、公私とも大変ご多用中にもかかわらず、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜っております。本大会に華を添えて頂き、和歌山労組を代表して厚くお礼を申し上げます。

和歌山労組の第 54 期は執行部 8 名、24 支部体制で 9 月 1 日よりスタートしました。今任期においては、第 49 期以降、歴代の組合長が取り組んでこられた様々な課題・問題の解決、そして、新たな時代を見据えた改革について今一度振り返り、それらを踏襲しながら更に深化・発展させていくことが肝要であると考えています。

その上で、労働組合主義を掲げ、和歌山労組が抱える多くの課題を解決すべく、全力で取り組んでいく所存であります。

後ほど、運動の基本スタンスや前半年度の活動内容についてご審議を頂きますが、私からは、今期の活動において改めて組合員の皆様と認識を共有すべきことを、3 点に絞り申し上げたいと思います。

1 点目は、やはり「安全と健康の確保」であることは言うまでもありません。

和歌山地区では、今年に入り本日まで休業災害が 2 件、不休災害が 19 件発生しており、依然として危機的な状況が続いています。過去に重篤な災害が多発した時代を教訓にし、先輩方が長年かけて築き上げてきた「安全に強い和歌山」が、いま根底から揺らいでいます。組合員はもとより、構内で働くすべての仲間が安全で安心して働ける職場を取り戻すべく、労使・直協の垣根を越えて職場の本質的な災害リスクを徹底的に洗い出さなければなりません。

執行部においても、無災害職場を構築するべく、労働組合ができうる限りの安全活動を実践することはもとより、今年度より実施されている「安全活動の選択と集中」についても、本来の目的である現場力の向上につながっているのか、しっかりと検証を行って参ります。

2 点目は経営諸施策への対応についてであります。

2021 年に発表された「中長期経営計画」において、関西製鉄所和歌山地区では 2025 年度末までに、薄板工場、第 4 コークス炉、海南小径製管工場西ミルの休止が予定されています。国内製鉄事業を再構築し「つくる力」を強化すべく、大変重要な施策でありますが、同時にこれまで慣れ親しんだ職場がなくなってしまう組合員の心情は計り知れないものが有ります。労働組合はそ

の心情を十分斟酌しながら、経営委員会を中心に進捗状況や対応について、適宜チェックをして参りますので、まずは、それぞれの立場で与えられた役割と責任をしっかりと果たして頂きますようお願い申し上げます。

そして、現在の鉄鋼産業は、内需の縮減や、資源・エネルギー価格の高止まり、欧米のインフレ長期化など、様々な要因により、厳しい事業環境が続く見通しにあり、加えて世界規模でカーボンニュートラルの実現に向けた競争が激しさを増す中、大きな転換期を迎えています。

和歌山労組は労働組合主義の観点に立ち、会社が厳しい競争を勝ち抜き、生き残るためにも経営基盤の強化に対し是々非々で協力していく姿勢を示しています。そのことが組合員の働く場、すなわち雇用の確保に直結するということをご理解頂き、関西製鉄所和歌山地区で働く皆様が会社の発展に大きく寄与され、誇りを持てる会社になることを切望致します。

3 点目は政策実現活動についてです。

昨年の第 26 回参議院議員選挙では、JAMとの共闘で臨んだ結果、見事に「村田きょうこ」参議院議員を誕生させることができました。和歌山・堺・海南地区の支部が緊密な連携を図りながら全組合員との対話活動を丁寧に積み重ねた結果であり、改めて感謝を申し上げます。

さらに、本年 4 月の和歌山市議会議員選挙においては、寒川議員の後継者として、「清末ひろよし」氏が初陣に臨み、立派な成績で当選を果たすことができました。各支部が後援会として、組織の総力を結集し力の限りご支援いただいた結果であります。

当選以降、「村田きょうこ」参議院議員は、ものづくり産業、鉄鋼産業のため、「清末ひろよし」市議会議員は、和歌山市民・組合員・製鉄所のために、日々奮闘をいただいております。和歌山労組は、両名に加え、各推薦議員の活躍をタイムリーにお伝えするとともに、生活総点検活動で出された多くのご意見をはじめ、皆様の声を「国政・県政・市政」に届けるべく、各議員との更なる連携強化を図って参ります。

そして、後ほど特別報告をさせていただきますが、2025 年 7 月に施行される「第 27 回参議院議員選挙」において、JAMの組織内候補予定者である「郡山りょう」氏を推薦することになりました。

我々ものづくり産業の代表として、一人でも多くの代弁者を議会に送り出すことはもとより、今回当選がかなわなければ、5 年後の「村田きょうこ」氏の選挙に大きな影響が出ることも考えられ、何としても「郡山りょう」氏を国政に送り出さなければなりません。今一度、和歌山労組の強固な組織力により、基幹労連・日本製鉄労連の構成組織をリードする気概を持って、必勝に向けた取り組みを進めて参りましょう。

その他にも今期の課題として、AP 24 春季取り組みにおいては、賃金改善の要求はもちろんのこと、賃金以外の項目についても、優秀な人材の確保・定着、離職防止に向けて前向きに検討し要求をすべきであり、鉄鋼産業が魅力ある産業であることを示さなければなりません。そのためにも、職場組合員の皆様には支部会議や討論集会において、積極的に議論への参画をお願い致します。一方、職場の環境改善や、ワーク・ライフ・バランスの実現、男女共同参画の推進など、職場に直結した重要課題についても、引き続き労使の連携を図りながら進めて参ります。

結びとして、和歌山労組第 54 期においても、組合員の皆様には和歌山・堺・海南それぞれの地区において、安全環境防災を最優先に日々ご尽力頂くとともに、コロナ禍を乗り越えた今、再び和歌山地区の一体感を取り戻すべく、組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ、第 11 回定期大会開会にあたってのご挨拶に代えさせて頂きます。ともに頑張りましょう。

ご安全に！

第１号議案「第54期運動方針に関する件（案）」に対する補強意見および執行部答弁（要旨）

安全で健康な職場環境確立



小径製品支部
南方代議員

和歌山地区では労使一体となった、安全活動を展開していますが、和歌山地区では休業災害２件、不休災害 17 件と例年以上のペースで災害が発生しており、危機的な状況となっています。

小径製品工場でも災害の連鎖を断ちきるべく、組合員が一丸となり安全活動に緊張感を持って取り組んでいますが、執行部におかれましても、これまで以上に現場との対話を通じて、安全施策の遂行や作業環境改善等の支援について、熱意をもって推進していただきたいと考えます。

また、メンタルヘルス疾患の予防やハラスメントを防止するために、職場実態の把握と更なるメンタルヘルス対策の強化に努めていただくようにお願いいたします。

雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化



薄板支部
後代議員

「中長期経営計画」において、薄板ラインの休止が示され、2024 年度上期末に全ラインを休止することが予定されています。長い歴史に幕を下ろすことは、薄板工場でひた向きに働かれてきた先輩方、そして我々現役の組合員も落胆したことはご存じの通りです。

薄板工場で働く我々が日々葛藤する中、一人一人が明るい将来を見据え、競争力ある和歌山地区を作り上げるべく、懸命に目の前の業務を遂行しています。まずは中長期経営計画が完遂できるように、薄板工場としても積極的に日々の活動に取り組んでまいります。

執行部におかれましては、会社からの休止に関する情報を、支部と綿密な連携をした上で前広に共有し対話活動を実施していただくことはもちろんのこと、会社に意見提起しながら、将来に亘る安定した雇用基盤の確立を目指した取り組みをお願いいたします。

魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善



ステンレス支部
鈴木代議員

職場組合員は今次AP24春季取り組みに大きな期待を抱いています。執行部におかれましては、日本製鉄労連に対しこれ以上他産業・他産別との賃金に差が生じない要求額の設定、優秀な人材の確保・定着ならびに私たち日本製鉄で働く組合員が魅力や誇りをもち、より安心・安定した生活を送ることができる回答結果が得られるよう、提言いただくことはもとより、組合員の「現場の声」を積極的に提起していただくようお願いいたします。

組織力のさらなる強化・発揮



青年女性部
南方代議員

青年女性部は、コロナ禍においても感染対策を実施したうえで多くのイベントを開催し、組合活動の魅力を伝えることができたと感じていますが、コロナ禍の影響によりさまざまな活動に制限をかけられた時期に入社した組合員も多い

ことから、第５４期においては、活動の目的をわかりやすく説明し、積極的に参加していただくことで、「組織力のさらなる強化・発揮」につながると考えています。今後も執行部のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

産業政策・政策・制度、生活諸課題の改善



海南整備支部
下坂代議員

我々の代表を国政の場に送り出す必要性については、第 26 回参議院議員選挙での「村田きょうこ」氏の取り組みにより職場での理解が浸透してきたところです。そのような中、4 月に施行された統一地方選挙においても我々の組織内議員である「清末博善」氏が 4,074 票を獲得する等素晴らしい結果で当選を果たすことができました。そういった実績のもと、第 27 回参議院議員選挙における JAM 組織内候補予定者「郡山りょう」氏の必勝に向けて、我々の持てる力を存分に発揮することができる、そういった取り組みを進めていただくようにお願いいたします。



中出書記長

執行部答弁

◆『安全で健康な職場環境確立』

和歌山地区においては、例年以上のペースで災害が発生し危機的な状況にあると認識しています。一方で 6 則再考活動の浸透により重篤な災害は減ってきています。執行部としてこの状況を打破するためには、6 則以外にも各室工場によって危険ポイントが違うことを認識した上で繰り返し浸透させることが必要だと考えます。執行部も現場実態を把握した上で、会社に対してこれまで以上に必要な意見提起をしていき、職場巡視や安全啓発に向けた取り組みを引き続きおこなってまいります。

メンタルヘルスに関しては個人情報の観点から情報を入手できないのが現状です。支部の役員が組合員の異変に気付いた場合、それを執行部に共有していただき、対策を協力して考えます。ハラスメント防止も含め、風通しの良い職場づくりが必要と考えていますので、労使で連携を図りながら取り組みを進めていきます。

◆『雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化』

工場休止に直面する職場の素直な思いをお聞きしました。当該職場で働く皆さん、OB の方など多くの方が未だ複雑な思いを持っているものと受け止めています。

執行部としては、現場に足を運び、個々人の意見・思いに寄り添いながら、対話を中心に据え、必要に応じて会社への意見提起を行いながら対応していきたいと考えています。配転先の室・工場・支部とも連携を図りながら配転後のフォローにも努めていきたいとしています。盤石な雇用基盤の確立については、会社からの情報をすばやく入手し、職場に共有することで組合員の皆様が安心して働ける職場環境づくりをしていきます。

◆『魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善』

AP24に関しては組合員の皆様の期待は大きいと認識しています。12 月に上部団体である日本製鉄労連の対話集会が開催されるため、その場で和歌山労組として皆様の「現場の声」を積極的に連合会へ意見を提起していきます。他産業･多産別との差もどのような形で埋めていくのかについても分かり次第情報共有いたします。

組合員の皆様が働きやすい職場環境になるよう、魅力あるワークライフバランスの実現に向けて、今の実態を含めて連合会の対話集会で皆様の思いを述べてまいります。

◆『組織力のさらなる強化･発揮』

コロナ禍の影響で会社行事を知らない方にも参加して楽しんでもらえるイベントを会社と考えるとともに、日本製鉄堺ブレイザーズの応援も労使一体となって行うことで活性化に寄与していきたい。

組合独自の活動をブラッシュアップすることも重要であり、とりわけ青年女性部は近年、様々な新しい活動を展開しており､今期も既にいくつかの行事を企画いただいています｡これらの行事を事前に周知するべく、青年女性部とさらに連携を密に LINE や組合ニュースを大いに活用していきます。開催する際は是非多くの方のご参加をお願いいたします。

◆『産業政策・政策・制度、生活諸課題の改善』について

前期は多くの選挙があり、支部の皆様にはご苦労いただきましたが、当選させた議員の活躍は期待以上だと皆様も認識していると思います。一方で近年若年層の政治、選挙離れは深刻だと認識しており、議員の必要性と周知についてはこれまで以上に取り組んでいきます。組合ニュースで既に村田議員・清末議員・浦口議員の取り組みを発信しており、引き続き各議員の活躍をお伝えしていきます。生活総点検活動の集約も終え、企業外案件も各議員に託す予定です。改善された案件は、組合ニュースなどで紹介していきます。

第 54 期も様々な課題が山積していますが、組合の活動は執行部だけでは行うことができません。支部との綿密な連携があってこその一体感のある組合活動であると考えています。全組合員とともに、盤石な和歌山労組を構築すべく積極果敢に挑戦していきましょう。

代議員の皆様には絶大なるご支援とご協力を心からお願いし、執行部を代表して答弁とさせていただきます。

第 27 回参議院議員選挙立候補予定者

「郡山りょう」氏について



第27回参議院議員選挙　比例代表
郡山　りょう（49 歳）

【経歴】

1992年　3月	熊本県立多良木高等学校 普通科 卒業
1992年　4月	武蔵精密工業株式会社に入社
	その後、武蔵精密労働組合執行委員、書記次長などを歴任
2011年10月	武蔵精密労働組合書記長に就任
	労働組合専従となる
2015年10月	武蔵精密労働組合執行委員長に就任
	JAM東海執行委員 副執行委員長
	JAM東海東三河地区協議会議長
	JAM東海男女共同参画委員会委員長
	JAM自動車部会メンバー
	連合愛知執行委員
	連合愛知安全衛生センター理事
	愛知地方特定最低賃金審議会（汎用機械）労働者委員などを歴任
2019年10月	武蔵精密労働組合執行委員長を退任
2022年　9月	武蔵精密工業株式会社を退社
2022年11月	JAMに入局 本部・政治センターに所属
2023年　5月	JAM 第42 回中央委員会で、2025年の参議院比例代表選挙における、JAMの組織内候補予定者に決まる

和歌山労組は「第 11 回定期大会」において第 27 回参議院議員選挙（2025 年 7 月施行予定）に「郡山りょう」氏の推薦を確認いたしました。

同大会では郡山りょう氏から、お祝いのビデオメッセージをいただきました。メッセージの中では大会へのお祝の言葉だけでなく「ものづくり産業で働く皆様の力になりたい」という強い思いも述べられていました。

和歌山労組は郡山りょう氏を国政へ送り出すべく、組合活動を展開していきます。さらなる支援の輪を広げる取り組みを展開する予定です。皆様のご支援ご協力よろしくお願いいたします。

訂正とお詫び

前号（15330）に記載している、Ｐ２の内容について一部誤りがありました。心よりお詫び申し上げ訂正いたします。正しくは以下の通りとなります。
誤）副委員長　久富副組合長　　正）事務局長　久富副組合長